

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.8 (1976) No.2

Study on Operational Conditions of a Continuous Slab Caster for the Production of
Enamelling Sheet, KTM

(Ken-ichiro Suzuki)

(Akio Ejima)

(Yasuhiro Habu)

(Toshihiko Emi)

(Takuo Imai)

:

KTM

(1)

1/2

(2)[]

(3)

Synopsis :

Operational conditions of a curved-mold type continuous slab caster have been studied in order to produce defect-free slabs for enamelling steel sheets, KTM, newly developed by Kawasaki Steel Corp., with minor additions of C and B. Cracks along the half thickness line of slab sections have diminished by precise controls of B, Mn and S contents, an amount of specific cooling water, and casting speed. B content of liquid steel could be adjusted by a little addition of Al in an RH degasser and by preventing liquid steel from air oxidation. Surface defects have been reduced by new CC fluxes without F-ion.

(c)JFE Steel Corporation, 2003

UDC 699.14-415:666.293

~~RECEIVED IN LIBRARY~~

Study on Operational Conditions of a Continuous Slab
Caster for the Production of Enamelling Sheet, KTM

鈴木 健一郎* 江島 彬夫**

Ken-ichiro Suzuki Akio Ejima

垣生 泰弘*** 江見 俊彦****

Yasuhiro Habu Toshihiko Emi

今井 卓雄*****

Takuo Imai

Synopsis:

で $0.2 \sim 0.6 \text{kg}/\text{t}$ の Al にて脱酸後 0.01% C を

溶接性を考慮して溶接した。

Loose side

Table 1 Casting conditions and defect frequency of tested slabs

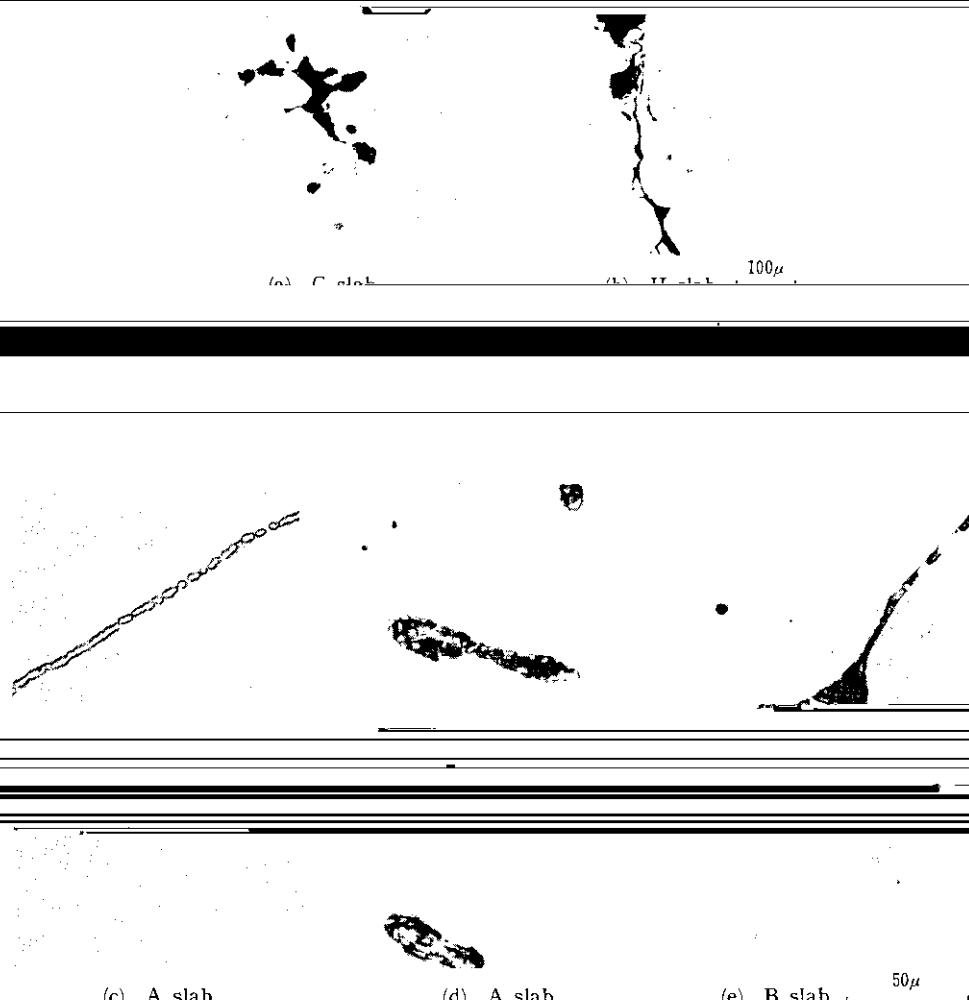


Photo. 3 The typical microstructures in the center of slabs

い場合に断面割れが発生している。冷却後のスラブ厚の測定より求めたバルジング量は断面割れ発生傾向とは無関係であることが判明した。また

かたった。

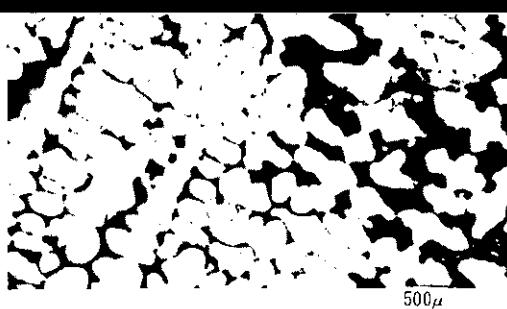
Table 2 から、铸造状態で吸収エネルギーが $1.6 \text{ kg}\cdot\text{m}$ 以上の場合に断面割れが発生しにくい

Table 2 Mechanical properties of continuously cast steel slabs with very low carbon content

Deformation at 0.002

T

1/2.37



(a) Microporosities observed at the center

化物中の Mn 濃度が増加して球形粒子となるため、割れを防ぎうると述べている。

仙田ら⁸⁾は粒状 MnS のみが存在する条件として $[\% \text{Mn}]^3 / [\% \text{S}] \geq 3.0$ をビード溶接の場合について与えている。同等の数値を [B] 80ppm の KTM 連鉄材（スラブサイズ 1600w × 200t, 冷却水比 1.3l/kg·steel）の場合で試算すると 0.18 以上となる。

極低 C 鋼は純 Fe に近く、固液が共存する温帯領域が狭く、このため、源田樹久ら⁹⁾の示す

3・1・5 極低 C 鋼の連鋳条件

調査結果および考察より、つぎの対策が有効であると判断され、いずれも工程試験によりその妥当性が確認されている。

- (1) $[B] \leq 50\text{ppm}$ とする
- (2) $[\text{Mn}]/[\text{S}]$ 比を上げる
- (3) 冷却水比を $0.8\text{l}/\text{kg}\cdot\text{steel}$ 以下とする
- (4) 鑄込速度を下げる

ここで(1)～(4)はいずれも B, S を含むフィルム状粒界析出物の形態を改善する目的を持つもので、(3), (4)の処置によりフィルム状析出物の析出温度域における冷却速度が低下する（たとえば Fig. 6¹⁰⁾）ため、析出硫化物の組成が平衡に近づくとともに、[B] の拡散が進んで B 濃化域が減少すると期待される。Fig. 7, 8 は(2)および(3)についての工程試験結果であり、これらの対策の妥

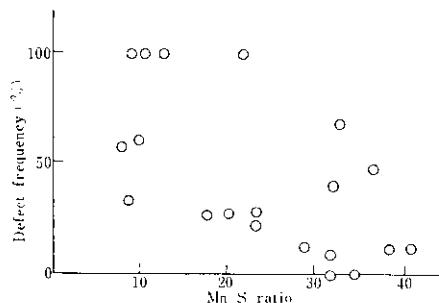
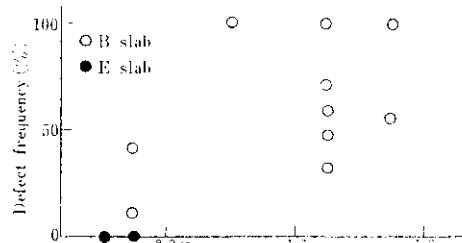
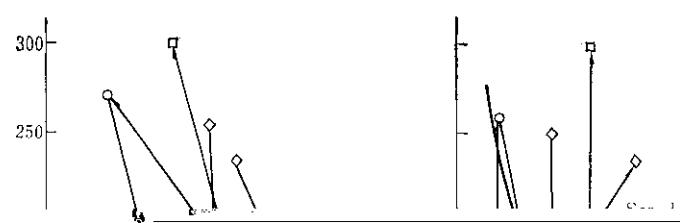
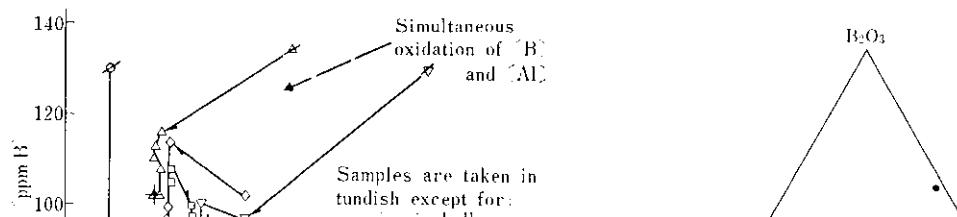


Fig. 7 Effect of Mn/S ratio on defect frequency







管のほか、取扱スラグ、タンディッシュ内の付着スラブ厚方向で均一に分布することは別途確認)。

ニガシトク IRG-A11 小酸ルコフリム切替トロリ面
セイタケ NC滑走面から用いてテロリテロリの折出

がある。

3.3 KTM 連鋳スラブ内の介在物

KTM スラブ中には巨大介在物は少なく、鋼板

挙動と関連して興味深い。②、③の介在物はスラブ表面より 25~50mm 内部に多数認められる。これらの介在物の成因はしたがってつぎのように推測される。①：凝固時にデンドライト樹間に濃

ルトミカル相が析出する。これは、アルミニウム

3.4.1 パウダーからの放出速度

B.O. が 5% の場合、 B_2O_3 の存在による酸化速度

が起これば、パウダーの重量減少率 Fig. 16

B.O. が 5% の場合、 B_2O_3 の存在による酸化速度に示すように B_2O_3 の存在により著しく加速さる。Fig. 16 は、 B_2O_3 の存在による酸化速度を $\text{B}_2\text{O}_3 = 10$ で $\text{B.O.} = 5$ とした場合

TABLE 4 Number of slag patches for each fluxes

を含まない新しい KTM 用パウダー, D, E およ

Powder	No. of heats	No. of slabs	Average slag patches
D	10	10	1.0
E	10	10	1.0
F	10	10	1.0
G	10	10	1.0
H	10	10	1.0
I	10	10	1.0
J	10	10	1.0
K	10	10	1.0
L	10	10	1.0
M	10	10	1.0
N	10	10	1.0
O	10	10	1.0
P	10	10	1.0
Q	10	10	1.0
R	10	10	1.0
S	10	10	1.0
T	10	10	1.0
U	10	10	1.0
V	10	10	1.0
W	10	10	1.0
X	10	10	1.0
Y	10	10	1.0
Z	10	10	1.0

(1) スラブ断面割れ: 水比の調整 (≤ 0.8) パウダーの利用

UOE steel 鋼の表面と内部の組織の変化

Mn/S 比の増加

(2) スラブ表面品質: F を含まない新モールド

取鍋スラグの酸化力の低減, Al 濃度の調整(Al
0.003~0.006%)

参考文献

- 1) 芳賀, 久々漣, 今井, 伊藤: 川崎製鉄技報, 7 (1975), 201
- 2) 鈴木, 加藤, 江良, 伸哉: 川崎製鉄技報, 7 (1975), 137